

堺商工会議所議員について

1. 議員（定数 135 名）

※議員の定数は 30 人以上 150 人以内で、確定した数を定款で定めなければならない。

（商工会議所法第 42 条）

※商工会議所法第 41 条第 2 項

（1） 1 号議員（定数 71 名）※議員定数の 100 分の 50 以上（過半数）

会員のうちから選挙した議員

（2） 2 号議員（定数 45 名）※議員定数の 100 分の 35 以下

部会が部会員のうちから選任した議員

（3） 3 号議員（定数 19 名）※議員定数 100 分の 15 以下

1 号議員及び 2 号議員以外に、会頭が常議員会の同意を得て会員のうちから選任された議員

1 号議員の選挙・被選挙権、2 号議員被選任、3 号議員被選任の資格は、選挙を行う年の 5 月 31 日現在会員であつて、会費を完納し選挙人名簿に記載される者。

2. 議員の任期

3 年（選挙を行う年の 11 月 1 日から 3 年後の 10 月 31 日まで）

任期途中で就任の議員の任期は、前任者の残任期間。

3. 選挙・選任にかかる選挙規約の規定

【1 号議員選挙】

（通常選挙）

第 6 条 通常選挙は、議員の任期満了の日前 **30 日以内**に行う。

2. 選挙の期日、投票の場所及び時間並びに選挙する議員の数は、常議員会の議決を経て、選挙の期日の 30 日前までに告示する。

（立候補の届出）

第 25 条 議員の候補者となろうとする者は、選挙の期日の告示が有った日から**選挙の期日の 16 日前までに**、選挙長にその旨の届出をしなければならない。

4. 議員の候補者は、**選挙の期日の 14 日前までに**選挙長に立候補を辞退する旨の届出をしなければ、その候補者たることを辞退できない。

（選挙権及び被選挙権）

第 5 条 会員及び会員以外の特定商工業者（以下「特定商工業者」という。）で**選挙を行う年の 5 月 31 日までに**会費又は負担金を納めない者は、議員を選挙し、又は選任される権利を有しない。

2. 新たに加入した会員及び新たに該当した特定商工業者は、選挙人名簿に登録されなければ議員を選挙し、又は議員に選任される権利を有しない。

(選挙人名簿の作成)

第 8 条 本商工会議所は、**選挙を行う年の5月31日午後4時現在**において会員及び特定商工業者の選挙資格を調査し、選挙人名簿を作成する。

(選挙人名簿の縦覧)

第 10 条 選挙人名簿は、**10 日以内**の期間を定めて、本商工会議所において会員及び特定商工業者並びにその関係者の縦覧に供する。

2. 前項の期間は、縦覧の開始の期日の少なくとも**5 日前まで**に告示する。

(選挙人名簿の確定)

第 12 条 選挙人名簿は、第 10 条第 1 項に規定する**縦覧期間の満了後 5 日を経て**確定する。

【2 号議員選任】

(選任の時期)

第 35 条 2 号議員（定款第 35 条第 2 項第 2 号に規定する議員をいう。）の選任は、第 6 条第 2 項による**1 号議員の選挙の告示の 20 日前まで**に各部会において行わなければならない。

(部会員の決定)

第 36 条 2 号議員の選任に係る部会員は、**選挙を行う年の7月1日現在**における部会員とする。

2. 部会員の 2 号議員の選任権及び被選任権については、定款第 12 条及び規約第 5 条第 1 項の規定を準用する。

(部会に対する 2 号議員の割当)

第 37 条 各部会に対する 2 号議員の割当数は、その部会員数及びその部会員が負担する会費口数を按分して会頭が常議員会の意見を聴いて定める。

(選任手続き)

第 38 条

2. 2 号議員を選任するための部会の会議（以下本章において「部会の会議」という。）は、部会長が招集し、その議長となる。

3. 部会長は部会の会議において部会員（部会員が法人その他の団体であるときは会員の権利を行使する 1 人の者）のうちから 5 人以内の 2 号議員の候補者選考委員（以下本章において「選考委員」という。）を選任し、部会長を含む選考委員により 2 号議員の候補者を選定する。

【3 号議員選任】

(選任の方法)

第 43 条 **常議員会において会員のうちから 3 号議員を選任**する。

(選任の時期)

第 44 条 3 号議員（定款第 35 条第 2 項第 3 号に規定する議員をいう。）の選任は、第 6 条第 2 項による**1 号議員の選挙の告示 30 日前まで**に行わなければならない。